

シンポジウムS1-6

放射線晩期障害に対するHBOの適応に関するアンケート調査
放射線晩期障害に対するHBOの適応に関するアンケート調査

丹羽康江¹⁾ 出水祐介¹⁾ 藤井 収¹⁾
 寺嶋千貴¹⁾ 美馬正幸¹⁾ 橋本直樹¹⁾
 金 東村¹⁾ 阿部光幸¹⁾ 村上昌雄¹⁾
 柳下和慶²⁾

- [1) 兵庫県立粒子線医療センター放射線科
 2) 東京医科歯科大学高気圧治療部]

放射線障害 (LRTI) に対するHBOの現状を把握するため、日本高気圧環境・潜水医学会 (JSHUM)、日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) に属する施設にアンケート調査を2011年6月に実施した。結果は表に示す。回答率はともに50%を越えた。JSHUM施設の37%は放射線治療装置があり、64%はLRTIに対するHBOの適応を知っていたが、実施は29%にすぎず、JASTRO施設では19%のHBO装置の保有率で、90%はHBOを知り、77%は効果的と認識していたが、実施経験は26%であった。HBOの依頼はJSHUMでは自施設ほぼ同等であったが、JASTROの多くは他施設に依頼していた。HBOは直腸・膀胱出血、口腔粘膜潰瘍、骨髄炎、脳壊死、大腸障害、皮膚潰瘍、胃障害、等に行われていたが、適応決定科や適応疾患の認識には両学会間で若干の差異があった。LRTIに対するHBOの保険点数が低いことをJASTRO施設では半数以上が知らなかった。HBOを断られた (断った) 経験はあり、その要因は保険点数、マンパワー・キャパシティー不足であった。

【結語】LRTIに対するHBOへの期待は大きいですが、実施数は多くない。普及のためにはエビデンスに基づく広報と診療報酬上の改定が必要である。

	JSHUM (%)	JASTRO (%)
発送数	598 (震災のため岩手、宮城、福島県へは郵送を控えた)	771
回答数 (回答率)	304(51)	420(55)
回答者	技師 209(69), 医師 64(21), 看護師 5(1)	放射線治療医 358(85), 診断医 44(11), その他 18(4)
HBO施設概況	第一種 255(84), 第二種 24(8%), 両方 5(2). 専門医 74(24), 認定技師 121(40)	HBO装置あり 79(19). HBOを知っている 381(91)
放射線治療施設概況	照射装置あり 113(37), 治療医在院 125(41)	卒後 5-52(平均 21)年
HBOがLRTIに対して	行われている事を知っている 196(64)	効果があると思うか: かなり効果的 77(18), やや効果的 247(59)
LRTIに対するHBOを	実施 90(29)	実施/紹介あり 109(26)
HBO依頼元施設	自施設 43(44), 他施設 18(18), 両方 38(38)	自施設 45(39), 他施設 71(61)
HBO依頼窓口/適応決定科 (上位5科)	各科担当 21(22) 脳外 20(21) 外科 22(12) 麻酔 10(11) 救命救急 8(9)	放射線治療 66(61) 麻酔 15(14) ケースバイケース 6(5) 高気圧治療 4(4) 泌尿器 4(4)
LRTI例の担当科	臓器別専門 72(86), 放治 12(14)	臓器別専門 108(59), 放治 58(19), 両方 57(19)
LRTIのHBO症例数	0-1518(中央値 4)	1-1580(中央値 3)
上位5疾患	膀胱出血(66) 骨髄炎(31) 直腸出血(20) 脳壊死(11) 胃障害(11)	直腸出血(73) 膀胱出血(37) 口腔粘膜潰瘍(29) 骨髄炎(27) 脳壊死(21)
HBOをお断りされたことが	ある 12(13)	ある 10(9)
その要因	保険点数(50), マンパワー (40), キャパシティー (30)	
診療保険点数が低い事を	知る 88(90)	知る 55(47)
今後LRTIに対するHBOをしてみよう	思う 63(31.5), 思わない 26(13), 未回答 111	思う 60(20), 思わない 46(15), 未定 197(65)